

第3種郵便物認可

昨秋まで投手コーチ 江草コーイチの教え結実

阪神大学野球 1部2部入れ替え戦3回戦

◇17日◇南港中央

1962年(昭37)創部の大阪電通大が悲願の1部昇格を果たした。1勝1敗で迎えた入れ替え戦の3回戦で、甲南大に3-2と競り勝った。リーグが70年に2部制になって以降、初の昇格。先発の小島遼太投手(3年)大阪電通大高)が7回1失点と粘り、主砲の森広拓夢内野手(3年)比叡山)が8回に決勝打を放った。昨秋までコーチを務めた現阪神の江草仁貴2軍投手コーチ(41)の教えを結果に結びつけた。

ウェスタンリーグオリックス戦の試合前練習を見守る阪神江草2軍投手コーチ



全打席気持ちで主砲森広拓夢V打

③大阪電通大2勝1敗
大阪電通大(2部1位)
0000010113
0000010012
甲南大(1部6位)
【電】小島 江本 橋本誠【甲】
井村、加藤、岡本、藤田、谷井
本西川大(電)
大阪電通大は1部昇格



1部初昇格を果たし胸上げられる大阪電通大・清田和正監督(撮影・柏原誠) ④右中間に決勝打を放つ大阪電通大・森広拓夢 ⑤1部初昇格を果たし喜ぶ大阪電通大・江本投手



大阪電通大 1部初昇格

創部60年ついに

1点差逃げ切り

声にならない声が上がった。森広は「涙で前が見えなかった」。最後は1点差に詰め寄られての逃げ切り。喜びは大きかった。

勝てば大学の歴史が変わる一戦。決めたのは主砲森広だった。1-1の8回1死三塁から右中間にはじき返した。「気持ち強い方が勝つと思ってた。ここまで4番の役割をできていなかった。全打席、気持ちでいきました」。

西川大地外野手(3年)秀岳館)も初戦の2発に続き、先制ソロ、決勝点につながる二塁打と爆発した。「弱くても一丸になれば勝てることを証明できた」と声を震わせた。

左右両輪が粘投

阪神2軍コーチに就任する昨秋までコーチを務めた「江草さん」に吉報を届けた。小島は7回1失点。初戦で初回に5失点した右腕は「僕のミスから負けたので取り返したかった」。江草コーイチと磨き上げた得意球フォークを低く投げ切った。最後を締めたのは前日完封の169センチの左腕、江本裕輝(3年)枚方津田)。元プロ左腕と濃密な時間をともにした両輪が、最高の結果で恩返しを決めた。

清田監督「感動です」

4年生は大半が引退済み。強豪と比べて選手集めもままならないが、17年に大学の強化指定クラブに認定され、江草氏を招聘(しゅうへい)するなど力を入れてきた。大阪桐蔭OBの清田和正監督(52)は今年1月に助監督から昇格したばかり。「言葉で言い表せない。感動しました。全員野球ができました」と感無量の様子だった。【柏原誠】

阪神江草2軍投手コーチ(2軍戦後に大阪電通大の1部昇格を聞き)「本当、よかった。選手たちがすごい頑張ったのが伝わってきたし、結果として表れてうれしい。ここがゴールじゃないので、1部の舞台で活躍できるように頑張ってほしいです」